

- A. 日時 2012 年 3 月 10 日 (土) 13:00~14:30 設備運営委員会、14:30~17:30 JR 博多シティ見学
B. 場所 委員会：JR 九州本社ビル、見学：JR 博多シティ
C. 出席 (主査：羽山広文)、幹事：柳井崇、郡公子、委員：赤司泰義、(秋元孝之)、(石川幸雄)、石野久彌、(猪岡達夫)、宇田川光弘、(岡建雄)、(川瀬貴晴)、(古賀誉章)、小林陽一、坂上恭助、(佐野武仁)、(清水昭浩)、(高井啓明)、(高草智)、(千葉隆文)、仲野章生、(中野淳太)、(二宮秀興)、(野部達夫)、(本間睦朗)、吉田治典
()付きは欠席、敬称略・順不同

D. 配付資料

- 資料 No.6-1 2011 年度第 6 回建築設備運営委員会議事次第
資料 No.6-2 2011 年度第 5 回建築設備運営委員会議事録案
資料 No.6-3 第 4 回環境工学本委員会 主要項目報告 (2/21 開催) (羽山主査)
資料 No.6-4-1-1 環境設備に関する学会規準における性能レベル検討小委員会 2011 年度活動成果報告
資料 No.6-4-1-2 同小委員会第 5 回議事録 (1/23)
資料 No.6-4-2 環境選択型空調設計小委員会 2011 年度活動成果報告
資料 No.6-4-3 気象データ小委員会 2011 年度活動成果報告
資料 No.6-4-4-1 次世代排水システム小委員会 2011 年度活動成果報告および活動自己評価
資料 No.6-4-4-2 同小委員会第 17 回議事録案 (2/21)
資料 No.6-4-5-1 環境建築設計法小委員会 2011 年度活動成果報告
資料 No.6-4-5-2 同小委員会第 7 回議事録案 (2/22)
資料 No.6-5-1 2012 年度建築設備シンポジウム企画案 (柳井幹事)
資料 No.6-5-2 第 8 回建築設備シンポジウム企画案 (郡幹事)
資料 No.6-5-3 第 7 回建築設備シンポジウム「環境建築の最新性能について考える」会告
資料 No.6-6 建築設備運営委員会 委員名簿案
(見学会資料)
資料 No.1 JR 博多シティ (パワポスライド資料)
資料 No.2 「JR 博多シティ」施設概要
資料 No.3 JR 博多シティ開発プロジェクト
資料 No.4 JR 博多シティ・みどころガイドほか

E. 議事：

1. 羽山主査がご欠席のため、郡幹事が司会を代行することになった。
2. 前回議事録が確認され、承認された (資料 No.6-2)。
3. 第 4 回環境工学委員会の内容が、資料に沿って確認された (資料 No.6-3)。
 - ・今年度大会参加状況、来年度大会プログラム編成会議 (4/25)、大会研究協議会「エネルギーとライフスタイルのあり方」(2 日目午後)、研究懇談会「節電から考えるこれからの建築」(1 日目午後)、震災関連のシンポジウム予定などについて確認した。
 - ・各種委員会委員の推薦あるいは推薦期限を確認した。
 - ・来年度予算について確認した。環境工学への配分は今年度に対して約 4%減少したものの、設備運営委員会への配分は、活発な活動の結果 0.85% (18,000-) 増加した。環境工学委員会後に、小委員会予算は、今年度と同様に 90,000 円/小委員会とし、残り (515,000-) を運営委員会予算とすることとした。
 - ・12/6 に、シンポジウム「環境設備デザインの再興と SAIKO (最古・再考・Psycho、最高)」(72 名参加) が開催された。
4. 小委員会の活動報告がされた。
 - 1)環境設備に関する学会規準 (AIJES) における性能レベル検討小委員会 (資料 No.6-4-1-1、2)、

環境選択型空調設計小委員会（資料 No.6-4-2）、気象データ小委員会（資料 No.6-4-3）

資料を確認した。

2) 次世代排水システム小委員会（資料 No.6-4-4-1、2、坂上委員）

・第 17 回小委員会議事録案に沿って、活動報告された。AIJ ガイドラインの発行を目標に、素案検討を進めている。ガイドライン案の作成が完了したら、シンポジウムを開催したい。

・放射能除染などについて質疑があった。

3) 環境建築設計法小委員会（資料 No.6-4-5-1、2、郡幹事）

・第 7 回小委員会議事録案に沿って、活動報告された。多摩小児総合医療センターの見学を行った。また、来年度建築設備シンポジウム案について審議した。

5. 2012 年度大会 OS について審議した。

・「環境建築の最新性能」に対して、3 件の応募があった。さらに、宇田川先生、赤司先生に応募頂き、件数を増やして開催することになった。

6. 2012 年度建築設備シンポジウムについて企画案が説明され、内容を審議した。

1) 柳井幹事から、シンポジウム企画案が説明された（資料 No.6-5-1）

・例年のように 2 部構成とし、第一部では、最近の環境建築として、IBEC サステイナブル建築賞、空衛学会賞などの受賞建築から 5 件選定する案が説明された。第二部では、①2050 年 CO₂80%削減に向けての将来技術とその展望、②建築・設備分野のシミュレーションの最前線、③建築・設備分野の見える化技術の最前線、④ZEB・ZEH を実現させる建築設備の技術展望、の 4 つの案が説明された。

・第 1 部では、新築に加え改修事例、小規模建築の事例も候補とする、デザイナーの発表を検討するなどの考えが説明された。

2) 郡幹事から、シンポジウム企画案が説明された（資料 No.5-5-2）

・シンポジウムテーマ名として、①エネルギーと環境建築の最新性能、②環境建築の最新性能について考える Part II の 2 案が説明された。また、第 1 部は環境建築の事例講演、第 2 部はエネルギーについて考える内容として、①各小委員会提案の講演題目を取捨選択して構成する、②ZEB、スマートグリッド、再生可能エネルギーなど現在主流のテーマを取り上げる、③震災の影響も踏まえたエネルギー消費の現状と今後、④民間をリードする行政の立場の講演を中心とする 4 つの案が説明された。

・原稿をパワポ原稿から普通原稿中心に移行するなどの考えが説明された。

3) シンポジウム内容について審議された。

・種々の意見が出され審議され、以下の方針を決めた。

・第 1 部は環境建築の事例講演として、日産グローバル本社、清水建設本社、丸の内パークビル、福山市学びの館ローズコム、東工大テクノステーション(付属図書館)を候補とし、さらに検討する。

・第 2 部は ZEB などのエネルギー利用法に関する内容とする。ただし、ZEB 重視がよいとも限らないので、偏りすぎず広い視点から展望する内容が望ましい。講演題目としてふさわしいものがあれば、各委員から提案して頂く。

・シンポジウムテーマは、「エネルギーと環境建築の最新性能」、「環境建築の最新性能について考える Part II」のいずれかにする。

7. JR 博多シティの見学を行った。

(株)三菱地所設計 設備設計部 小林信和氏、(株)三菱地所設計 九州支店 松永頼秀氏、博多ターミナルビル(株) 松尾 巧氏、九州旅客鉄道(株) 福田健一氏にご説明、ご案内頂き、JR 博多シティの建築・設備システムの見学を行った。見学後に質疑応答を行った。

8. 次回予定 2012 年 4 月 24 日(火) 17:00~19:00 於：建築会館

(文責：郡)